

成果の説明書

(氏名) 水口剛	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>(1) 環境省 ESG 金融懇談会への参加</p> <p>2017 年度 (2018 年 1 月) に環境省が設置した「ESG 金融懇談会」に、2018 年度もメンバーとして引き続き参加した。本懇談会は 2018 年 7 月に提言をまとめて終了した。そのフォローアップとして 2019 年 2 月 28 日に開催された ESG 金融ハイレベル・パネルにも参加し、意見交換した。これらを通じて日本における ESG 金融の推進に取り組んだ。</p> <p>(2) グリーンボンド等の ESG 債に関わる研究</p> <p>2017 年度に野村資本市場研究所を事務局として発足した「ESG 債券市場研究会」に、2018 年度も引き続き参加し、座長として議論の取りまとめに取り組んだ。ESG 債とはグリーンボンドをはじめとする、資金用途を環境・社会事業に限定して発行する債券を言い、2018 年度には世界銀行と年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF) の共同研究のレポートが公表されるなど、注目が高まった。本研究会は 2019 年 1 月で終了し、現在、報告書を作成中である。</p> <p>(3) 運用機関と NGO による協働プロジェクト</p> <p>昨年度に引き続き NGO の連合体である CSR レビューフォーラムとある機関投資家 (運用機関) との協働プロジェクトに取り組んだ。機関投資家として ESG 投資に取り組むにあたり、NGO の知見を活用する先進的な試みである。</p> <p>(4) グリーンボンドの普及活動</p> <p>昨年度に座長として取りまとめた「グリーンボンドガイドライン」に基づき、日本でのグリーンボンドの普及に取り組んだ。具体的には、環境省による「グリーンボンド発行モデル創出事業」に関わり、モデル発行事例審査委員会の委員長として、審査に当たった。</p> <p>(5) 学会発表</p> <p>日本管理会計学会の招待を受け、2018 年度第 1 回管理会計フォーラム (2018 年 4 月 26 日、会場：東京理科大学 富士見校舎) において、「ESG 投資の文脈から見た『ESG 経営』の概念」と題して報告した。フォーラム全体の論題が「ESG 経営と管理会計」であったため、その起点となる ESG 経営の概念の整理を試みたものである。</p> <p>(6) 講演</p> <p>研究成果の対外的な発信、及び地域・社会貢献の観点から、以下の講演等を行った (主なもののみ掲載)。</p> <ul style="list-style-type: none">2018 年 4 月 5 日「今なぜ ESG なのか」大阪ボランティア協会主催、フィランソロピー・CSR クリーンアップフォーラムにて講演。2018 年 4 月 26 日「世界の ESG 投資の動向と森林問題」、FoE Japan/早稲田大学環境総合研究センター W-BRIDGE プロジェクト共催セミナー「ESG 時代の責任ある木材調達と製品づくり」での講演。早稲田大学大熊記念講堂にて。2018 年 5 月 25 日「ESG 投資の潮流とグリーンボンド」Bloomberg/野村証券共催「グリーンボンドセミナー」にて基調講演。Bloomberg にて。	

- ・ 2018年6月21日「ESG投資 ～ 私たちのお金と環境問題」公益社団法人環境生活文化機構主催「環境文化講演会」にて講演。航空会館にて。
- ・ 2018年6月26日(火)「ESG投資の可能性」、東京大学木材利用システム研究会にて講演
- ・ 2018年7月13日「年金資金の運用、企業のガバナンス、ファイナンスとSDGs」、長崎大学主催『よくわかるSDGs講座』にて講演
- ・ 2018年8月25日(土)「ESG投融資と情報開示」環境監査研究会シンポジウムにて講演。中央大学駿河台記念館にて。
- ・ 2018年9月27日(木)「ESG投資と食品産業」、食糧新聞主催『食品経営者フォーラム』にて講演。
- ・ 2018年12月10日「年金と株とよりよい社会 ― 年金の積立金はどのように運用されるべきか」、前橋中央公民館主催『明寿大学』にて講演。

(7) 執筆

- ・ 「温暖化対策の難路 ― 産業構造、企業主導で転換」日本経済新聞『経済教室』2018年11月21日付朝刊
- ・ 「ESG投資とアニマルウェルフェア ― 集約的畜産のリスク」『臨時増刊鶏の研究』No.25、2018年8月
- ・ 書評「マテリアルフローコスト会計の理論と実践（國部克彦・中寫道靖編著）」『産業経理』Vol.78 No.3, 2018年10月
- ・ 「EUのサステナブル金融と投資アドバイス」『Journal of Financial Planning』2019年1月号
- ・ 「グリーンボンドをめぐる国内外の動向と将来展望」『月刊ビジネスアイ エネコ』Vol.52, No.4, 2019年3月

2 その他の事項

2018年度も引き続き、副学長として理事会・教育研究審議会等への参加、ラジオゼミナールの企画、あすなろの運営支援、同窓会広島支部総会への出席（2018年10月20日）、高校訪問等を行った。また、本学における地域貢献、社会貢献の活動を取りまとめて対外的に発信するために、本学として初めて『地域・社会貢献白書』を発行した。2018年7月3日にはプロツワフ経済大学から3人の研究者を招いて、初の国際シンポジウムを開催した。全学人事評価委員会では委員長を務め、大学院改革検討委員会における検討と答申の作成も行った。2018年度に開設された学生ボランティア活動支援室の立ち上げと、その後の運営にも取り組んだ。

3 次年度以降の計画・抱負

2019年度には「ESG債市場研究会」の成果として、報告書の書籍化と出版を予定している。引き続き、ESG投資とグリーンボンドに関わる研究及び促進支援に取り組むとともに、視野をESG金融へと拡大し、特に地域金融とESGとの関係に注目して研究していきたい。